

生活情報誌
月刊 **ぷらざ** 掲載広告

入稿データ作成手引き

生活情報誌 月刊ぷらざ編集室

 **ヨツハシ株式会社内**

TEL(058) 293-1011 FAX(058) 293-1008

E-mail:info@plaza-gifu.com

※印刷上不具合のあるデータであることが判明した場合は、再度正しいデータをご入稿いただきますのでご了承ください。

※お客様のデータ作成時の不備などにより発生した不具合につきましては、当社は責任を負いかねます。

CONTENTS

■ドキュメントの作成	3
■広告サイズとクーポン券	4
■塗足し	5
■カラー設定	6
■画像データ(配置データ)	8
■文字のアウトライン化	10
■線 幅	11
■オーバープリント	12
■ラスタライズ効果設定	14
■マスク	15
■保 存	16
■出力見本	18

■ ドキュメントの作成

入稿していただきました広告は、当社使用のレイアウトソフト(InDesign)で誌面に配置して編集制作いたします。

- ドキュメント(アートボード)サイズは、トリムマーク(トンボ)、塗足し(P4参照)の入る大きさに設定してください。

例：1ページ広告(印刷面ヨコ210mm×タテ257mm)では、B4または、ヨコ236mm×タテ283mm以上で指定してください。

- $\frac{1}{4}$ サイズの広告にクーポン券を付ける場合は、クーポン券を別ファイルで作成してください。

広告の掲載位置(クーポン券の場所を含む)は当社で決めさせていただきます。

- 1頁サイズの広告にはクーポン券を4枚まで、 $\frac{1}{2}$ サイズの広告には2枚まで付けることができます。クーポン券を付けられる場合は、広告領域にクーポン券が食い込みますので、広告と一体で作成していただきますようお願いします。

- 広告の周りのリーダー罫(ドット罫)やクーポン券のミシン罫(破線)は必要ありません。入稿データ内に残さないようにお願いします(当社で作成します)。

- 「月刊ぷらざ岐阜」のWebサイト(<https://plaza-gifu.com/ad/>)にサイズ別のテンプレートを用意しております。ドキュメントサイズから保存までそのまま使用できますので、ぜひご利用ください。

■アートボード

印刷可能なアートワークを含む領域を表します。アートボード領域外のオブジェクトは印刷されません。

■ 広告サイズとクーポン券

当社より配布した広告テンプレート(Illustrator)を使用いただくと便利です。

広告サイズは、リーダー(ドット)野内のサイズです。周りに2mmの余白があるデザインにしています。

● 広告サイズ

		ヨコ	タテ
1ページ	クーポン 無し、1~4枚	210mm	257mm
1/2ページ	クーポン 無し、1~4枚	194mm	118.5mm
1/4ページ	クーポン 無し	95mm	118.5mm
1/4ページ	クーポン 1枚	95mm	96mm

※サイズの詳細は広告テンプレートでご確認ください。



クーポン券のサイズ

ヨコ タテ
基本： 99mm×27mm

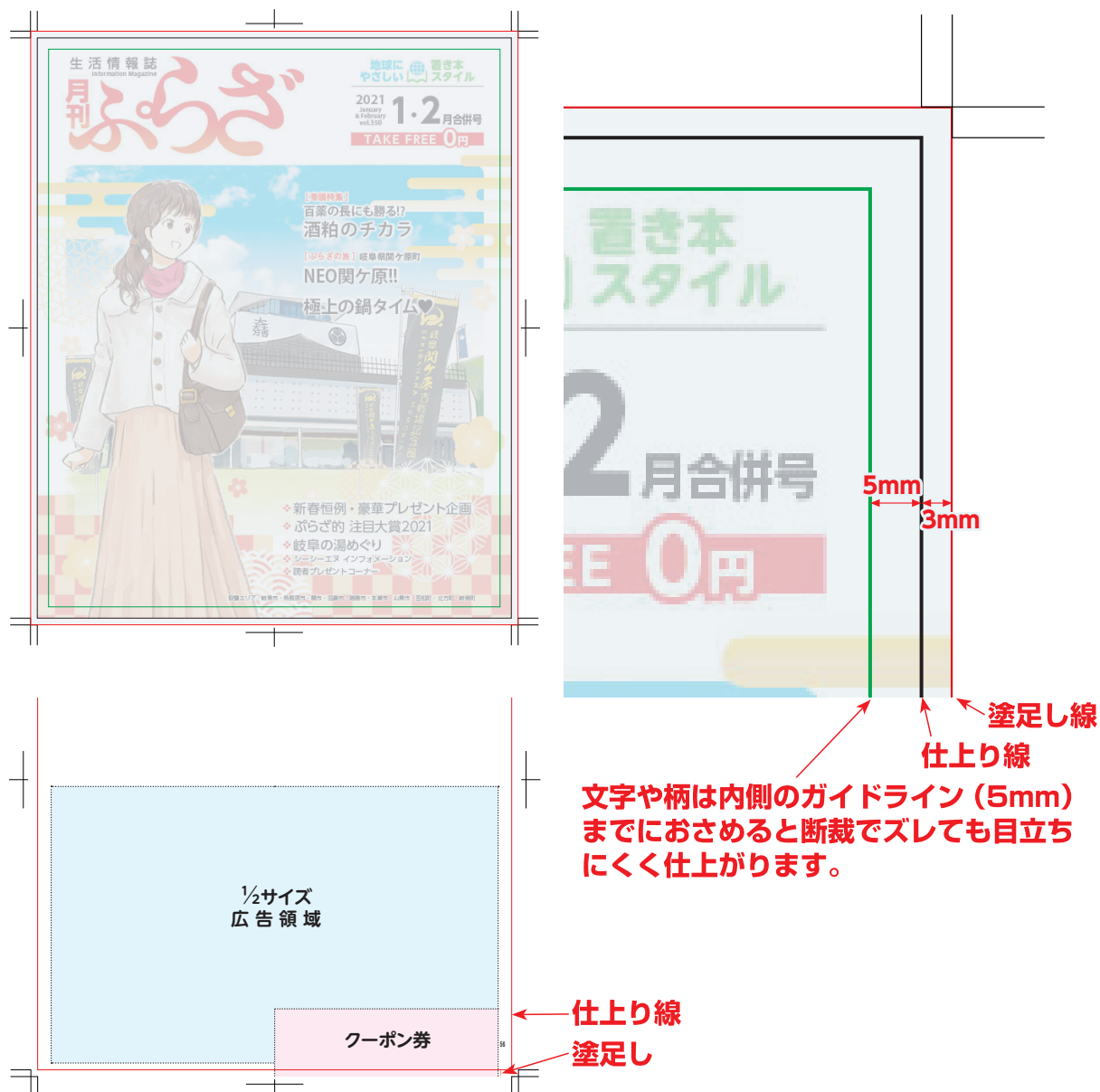
クーポンの切り取り線は当社にて追加しますので
ご入稿データには入れないでください。

■ 塗足し

- 1ページ広告は、誌面全体を使用できます。仕上がりサイズまで絵柄がある場合は、**塗足し**が3mm必要です。
- クーポン券にも塗足しは必要です。クーポン券の位置によって必要な塗足しが変わります。作成時には上下両方向に塗足しを付けてください。(当社のテンプレートには塗足しが付けてあります)

■ 塗足し

印刷後に仕上げサイズに断裁する際、紙端に白い部分が出ないように絵柄を大きめに作る足ししろのことです。

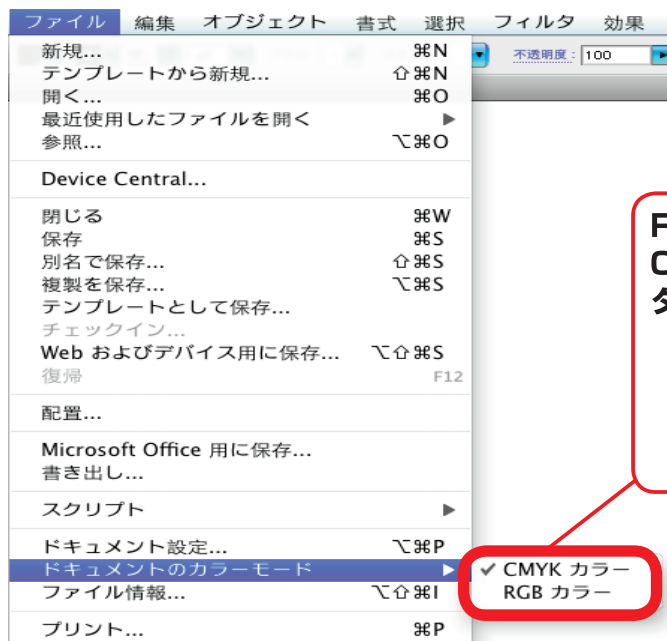


■ カラー設定

カラーはプロセスカラー(C,M,Y,K)で入稿してください。

スポットカラー(特色)が使用してある場合は、入稿時にはプロセスカラーに変換してください。

●「ファイル」→「ドキュメントのカラーモード」→「CMYK カラー」

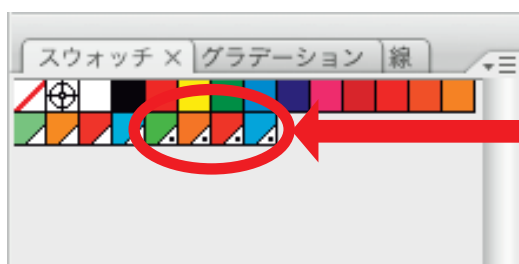


RGB にチェックが入っていたら
CMYK にチェックし直してください。
タイトルバーで確認してください。

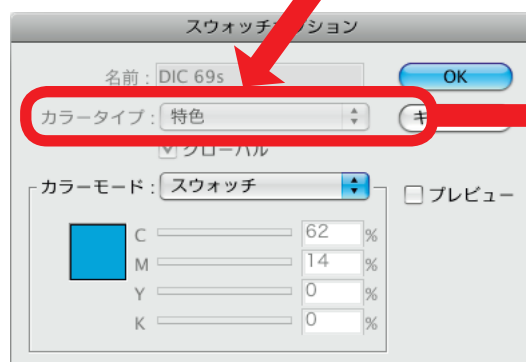


●スウォッチ表示の四角の右下、白い三角の中に黒丸がある色はスポットカラー(特色)です。

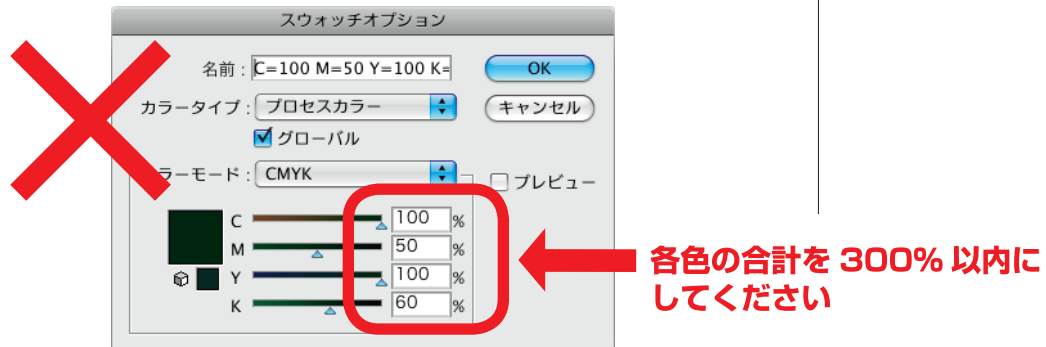
「スウォッチ設定」からカラータイプを「プロセスカラー」に変換してください。



スポットカラーは
プロセスカラーに



- 色の指示はC,M,Y,K 各%の合計が300%以内になるよう設定してください。300%を超えた場合、印刷汚れの原因になるおそれがあります。



■ 画像データ(配置データ)

画像のカラーモードは印刷用のデータを編集するためにとっても重要です。カラー画像のモードは〈C,M,Y,Kカラー〉、白黒画像は〈グレースケール〉、線画データは〈モノクロ2階調〉に設定してください。画像データは原寸(100%)で貼付けてください。

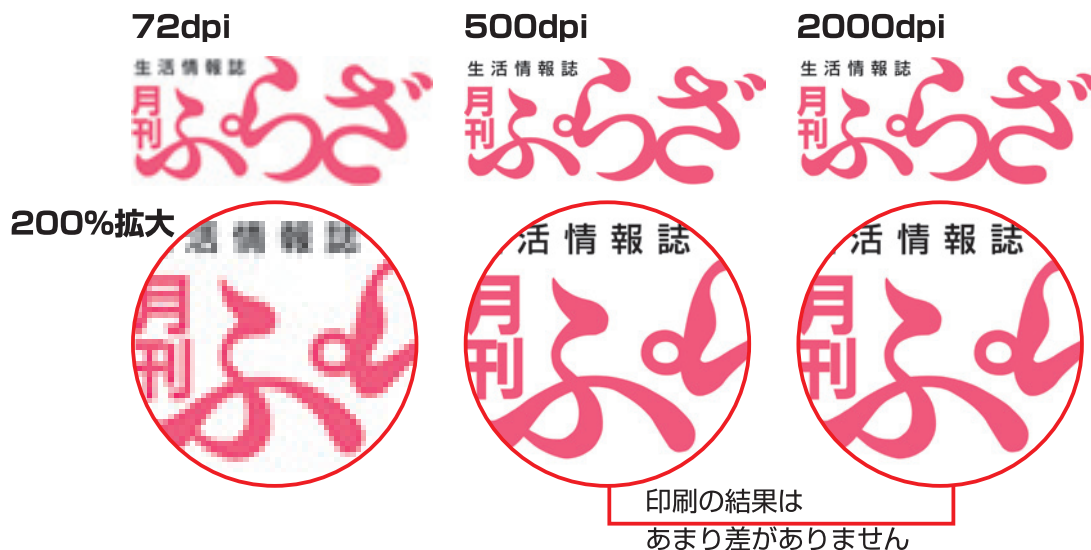
- ◆C,M,Y,Kカラー：印刷用のカラー画像モードです。
- ◆グレースケール：階調・中間調のある白黒写真用のモードです。
- ◆モノクロ2階調：白か黒の中間色のないモードです。

▶ 画像データの解像度、保存フォーマット

- 解像度が低いとジャギー(文字や画像の線がギザギザに見えてしまう状態)の目立つ仕上がりになります。原寸で500dpi 程度の解像度が理想です。(250線出力)
(Webサイトで使用されている画像のほとんどは72dpiしかありませんので、HP用の画像は使用しないでください)
なお、むやみに解像度を高くしてもデータ量が大きくなるだけで、印刷での再現効果は望めません。

■解像度

入力、出力の精度のことを言います。1インチあたりのドット数で表現し、dpiの単位を用いています。

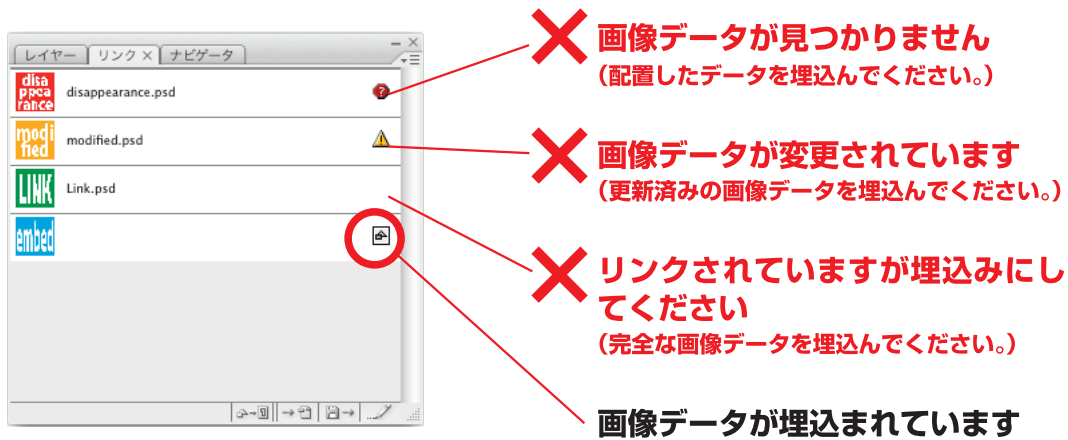


- 画像データの**保存フォーマット**は階調のある〈C,M,Y,Kカラー〉、〈グレースケール〉は「.psd」、〈モノクロ2階調〉は「.tif」での保存をお願いします。
バージョンの違い、保存フォーマットの違いによって不具合が見つかっております。予期せぬ事故を防ぐためにも指定フォーマットでの保存にご協力ください。

■保存フォーマット

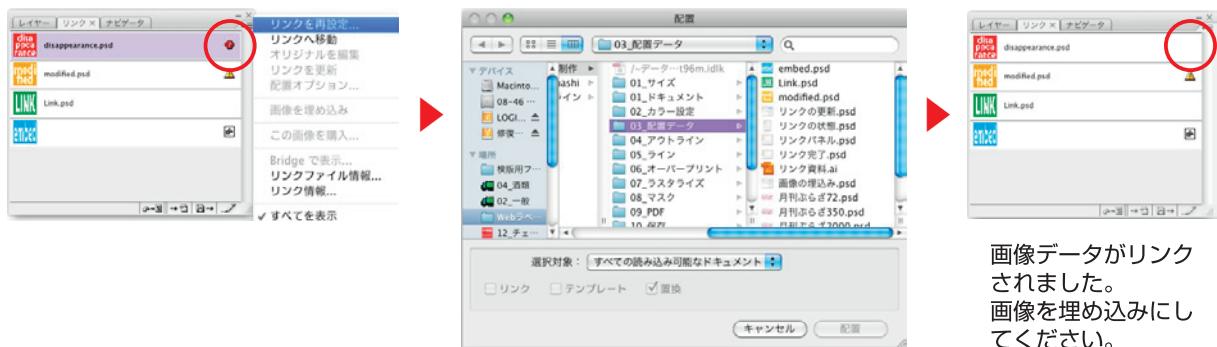
基本的な保存書式。
保存時のウィンドウで選択できます。

●配置したデータは「埋め込み」にしてください。



▶ 画像データの再配置

- ① リンクのパネルのオプションから「画像を再設定」を選択します。
- ② 再配置する画像データを選択します。→ 画像がリンクされます。



画像データがリンクされました。
画像を埋め込みにしてください。

▶ 画像データの更新

- リンクのパネルのオプションから「リンクを更新」を選択します。



画像データが更新されました。
画像を埋め込みにしてください。

▶ 画像データの埋め込み

- リンクのパネルのオプションから「画像を埋め込み」を選択します。

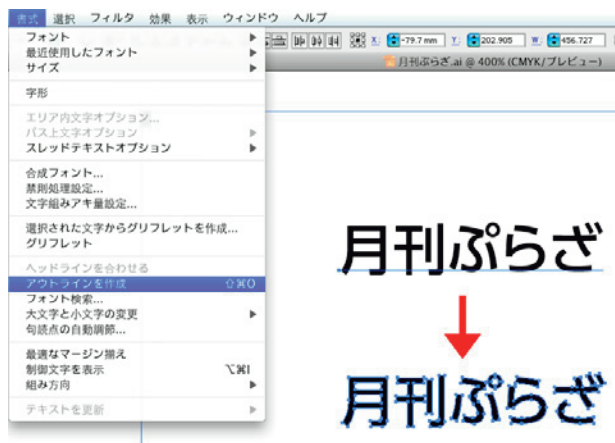


画像データが「埋め込み」になりました。
残りの画像もすべて「埋め込み」にしてください。

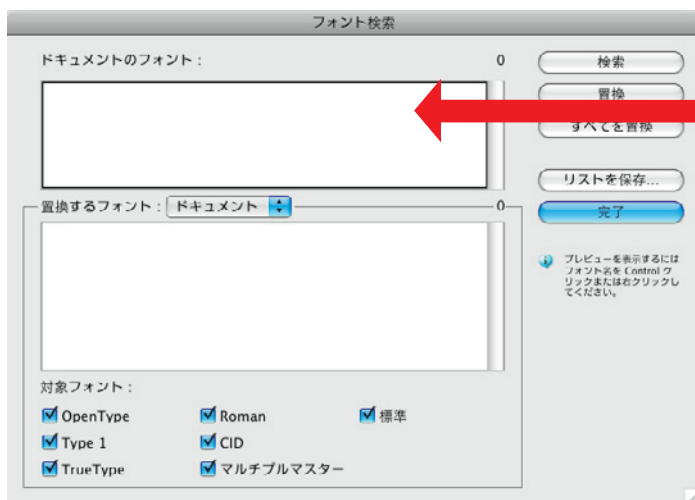
■ 文字のアウトライン化

文字のアウトライン化(図形化)をしていない場合、お客様の意図していない書体に置き換わったり、文字化けの原因になります。必ずアウトライン化をしてください。

- 文字を選択して「書式」→「**アウトラインを作成**」でアウトライン化できます。



- アウトライン化されていないフォントは「書式」→「**フォント検索**」で確認してください。



アウトライン化されていない文字があれば、フォント名が表示されます

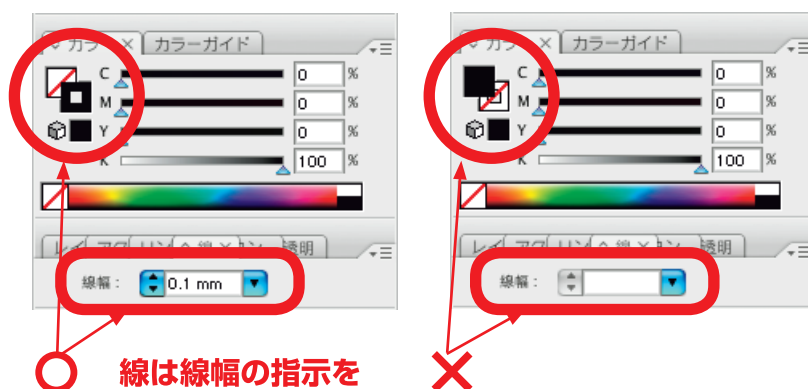
- 検索ボタンを押すと、フォントのままの文字の場所に画面が切り替わります。

■ 線幅

線幅は、0.1mm(0.25ポイント)未満の数値を指定しないでください。0.1mm以下ですと、印刷できなかつたり、かすれたような印刷結果になるおそれがあります。

- 線はパスを「塗り」でなく「線種」で0.1mm以上の指定をしてください。

「塗り」のみの指示ですと印刷では表現されません。



■ オーバープリント

Illustrator 9 以降に**オーバープリント**の設定が追加されました。

- K100%以外には**オーバープリント**のチェックはしないでください。意図しない出力結果になるおそれがあります。



- 「表示」→「**オーバープリントプレビュー**」で**オーバープリント**の確認ができます。

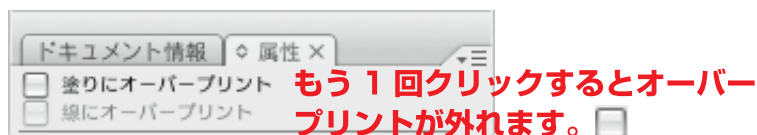
オーバープリントプレビュー



注：製版システムによって「オーバープリントプレビュー」と同じ出力結果にならないおそれがあります。「オーバープリントプレビュー」は仕上りの確認ではなく、オーバープリントの有無を確認するためだけに使用してください。

* K100%のみをオーバープリントにする方法

1. デザインが出来上がったオブジェクトを全選択して「**ウィンドウ**」→「**属性**」から「**オーバープリント**」のチェックを外してください。その後に必要なオブジェクトに「**オーバープリント**」のチェックを入れます。



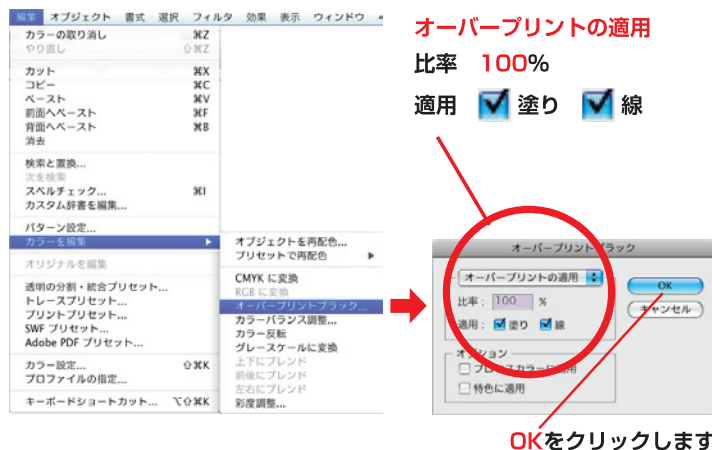
■ オーバープリント

色を重ねて印刷することをいいます。(ノセ)
色のついた下地の上に黒文字がある場合に、下地の色と文字の間に白い隙間が空くことを防ぐ方法です。

■ オーバープリントプレビュー

通常、色の違うオブジェクトを重ねて配置した場合には、オーバープリントの指示がしてあっても前面になっているオブジェクトの色しか確認することができません。しかし、実際には背面と前面のカラーが混ざった色が作成されています。「オーバープリントプレビュー」をONにすることでオーバープリントを確認することができます。

2. 前項1.の要領で全てのオーバープリントを解除したら、オブジェクトを全選択して「編集」→「カラーを編集」→「オーバープリントブラック」から「オーバープリントの適用」をONにすることで全てのK100%をオーバープリントにすることができます。



※比率は100%以外にしないでください。

◆オーバープリントの弊害

K100%のオブジェクトの下に面積の大きなベタや写真等の柄が配置されていると、バックの色が透けて気になることがあります。

オーバープリントなし

図 A-1



オーバープリント適用(チェック)

図 A-2



図 B-1



図 B-2



※違いが分かりにくい場合は拡大してご確認ください。

オーバープリントの指示をすると図A-2、図B-2のようにバックのベタや画像が透けて気になることがあります。

解決方法

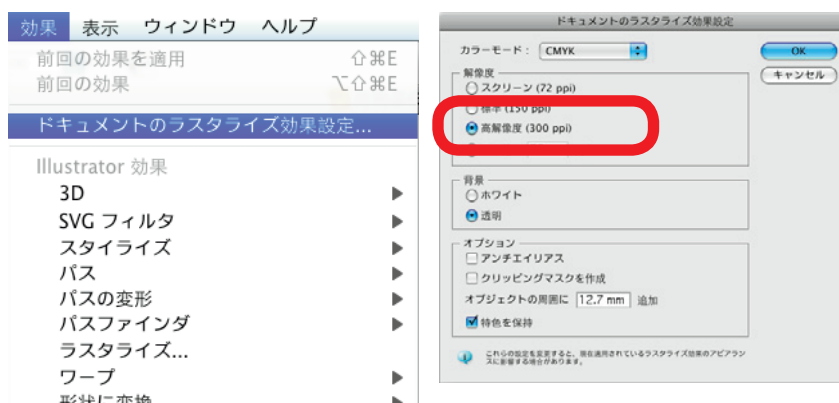
1. K100%に他の色を加えることによって一括でのオーバープリント指示はされなくなります。

2. 一括でオーバープリントの指示をした後に必要な箇所のみオーバープリントの指示を外します。
ただし、いずれの場合でもわずかな隙間が気になることがあります。

■ ラスタライズ効果設定

Illustrator 9 よりラスタライズ効果設定の機能が追加されました。この効果メニューで指定するドロップシャドウやぼかしは、印刷時には画像に変換されます。変換されるとき画像の品質を決めるのが、効果メニューにある「書類のラスタライズ効果設定」です。

- Illustrator CS3 では、メニューから「効果」→「ドキュメントのラスタライズ効果設定」を選択します。(バージョンによって違いがあります)



■ラスタライズ

フィルタ処理は、ベクトルデータのままで実行できません。そのためフィルタ処理の前にこの設定を行います。

ラスタライズする時は、オブジェクトの大きさを決定してから行うことが大切です。ラスタライズしてから拡大・縮小すると仕上がりのイメージが変わってしまいます。

- 解像度を「高解像度300dpi」に設定します。

※同じ効果を適用していても設定解像度によって仕上がりイメージが異なります。また、データ作成中に設定を変更した場合にもイメージが変化します。新規ドキュメント作成時に適正な解像度を選んでください。



「高解像度 (300dpi)」の場合 「スクリーン (72dpi)」の場合

※違いが分かりにくい場合は拡大してご確認ください。

■ マスク

広告サイズからはみ出るオブジェクトは、クリッピングマスクで仕上りサイズ内に収めてください。

- **クリッピングマスク**に使用したオブジェクト(クリッピングパス)に色の指定をすると、正しく出力されないことがありますので、「塗り」、「線」共に「なし」にしてください。



■ クリッピングマスク

一番上にあるオブジェクト(クリッピングパス)の型でくりぬいたように見せる効果です。

クリッピングパス
(マスクとして使用するオブジェクト)
※「塗り」、「線」共に「なし」にしてください。



■ 保存

Illustrator のデータは、必ず **Ai形式** (Adobe推奨) で保存してください。

注) EPS形式で保存されたファイルは、予期せぬ結果になるおそれがあります。

保存の際は、必ず作成したバージョンで保存してください。**バージョンダウン**での保存はエラーの原因となりますので、**バージョンダウンはしないでください。**

※「データチェック表」に基づいてデータをご確認ください。

▶ チェック内容

- ・ 使用アプリケーションのバージョン。
- ・ 全てのファイルに拡張子を付けてください。
- ・ 全てのフォントをアウトライン化してください。
- ・ 実画像で、モードはCMYKにしてください。
- ・ 配置画像は全て埋込みにしてください。
- ・ 必要なファイルは全て、1つのフォルダにまとめてください。
- ・ 裁ち切りがあるデザインは仕上り寸法より3mm余分に作ってください。
- ・ 全ての色指示をCMYKにしてください。
- ・ 線は0.1mm(0.25pt)以上の線幅指定をしてください。
- ・ **レジストレーション**は使用しないでください。
- ・ インキ総量300%以上の色指示は控えてください。
- ・ BK100%の塗り、線幅には、オーバープリントのチェックを入れてください。(意図的に入れない場合もあります。)
- ・ BK100%の色指定以外には、オーバープリントのチェックを入れないでください。
- ・ 保存時のオプション設定を確認してください。
- ・ 仕上がり見本を必ず添付してください。

■ バージョンダウン

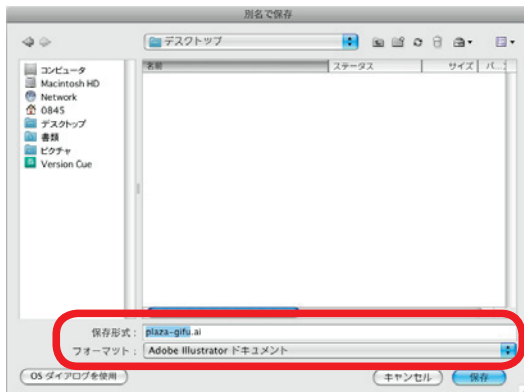
作成したバージョンより下位のバージョンで保存すると、保存した下位のバージョンで開くことができます。しかし、作成されたデータの完全性は保証されていませんので必ず作成したバージョンで保存してください。

■ レジストレーション

カラー印刷では、カラー版(C、M、Y、K)がずれないように全版100%(CMYKではC:100%、Y:100%、M:100%、K:100%)の色でマーク(レジストレーションマーク)を印刷して色版毎のずれをなくします。全版100%の色をレジストレーション(カラー)と言います。

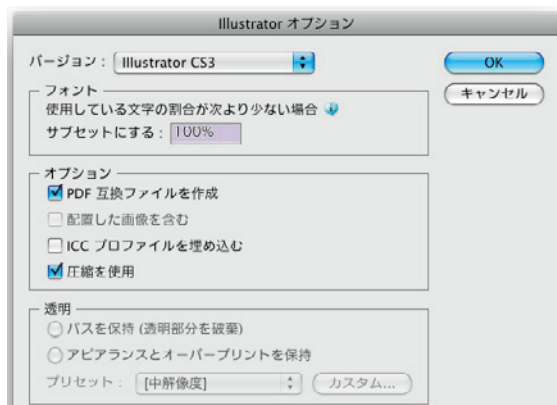
▶ Illustrator (Ai) 形式 (Adobe 推奨)

- フォーマットを「Adobe Illustratorドキュメント」に設定します。
ファイル名は拡張子「.ai」をつけます。
「保存」をクリックします。



- Illustrator 形式の**オプション設定**画面で次のように設定して「OK」をクリックします。

- ・ **バージョン**：必ず制作している Illustrator のバージョンで保存してください。
- ・ **サブセット**：100%
- ・ ☒ **PDF 互換ファイルを作成**：必ずチェックをしてください。
- ・ ☐ **配置した画像を含む**：全ての配置データが埋込まれているとグレースアウトされています。
- ・ ☐ **ICC プロファイルを埋め込む**：**チェックしないでください。**
- ・ ☒ **圧縮を使用**：どちらでもよいです。チェックをすると保存が遅くなりますが、ファイルサイズは小さくなります。



■ オプション設定

バージョンによってウインドウの表現が異なる場合があります。
CS3のウインドウを見本にして説明しています。

■ PDF互換ファイル

入稿していただいた完全データを、当社のレイアウトソフトに貼り込んで編集するために必要なチェックです。

■ 配置した画像

画像をリンク配置していない場合は、グレースアウトされてチェックできません。

■ ICCプロファイル

カラーマネジメントを使用していない場合はグレースアウトされてチェックできません。

■ 出力見本

入稿データは全てデータチェックを行ってから印刷しており、その際に入稿データと仕上がる製品とが同じものかどうかを確認しています。印刷後のトラブルを避けるためにも、必ず出力見本を添付してください。

(文字校正、色目の確認用ではありませんのでご了承ください。)

■画面キャプチャ(スクリーンショット)の作成方法

1. 作成した最終データを開きます。
2. デザインの全体が見える大きさに調整します。
(デザインに被っているウィンドウは「Tab(タブ)」キーを押して隠してください。)
3. **Macの場合** : 「**コマンドキー**」+「**シフトキー**」+「**3**」のショートカットを押します。「カシャ」という音がしてスクリーンショットが撮られます。撮られたスクリーンショットは起動ディスク内に保存されます。
Winの場合 : 「**Print Screen**」のキーを押すとスクリーンショットが撮られます。「**スタートメニュー**」から「**プログラム**」→「**アクセサリ**」を選択して「**ペイント**」を起動し、「**貼り付け(P) Ctrl+V**」を選択して貼付けて保存します。
4. 最終データの仕上がりだと分かるファイル名をつけてください。
5. 最終データと同じフォルダに入れて圧縮してください。

※画面キャプチャまたはPDFは、トラブルを防ぐために添付していただきます。色や文字の校正としての使用ではありませんので、ご了承ください。

※画面キャプチャまたはPDFを印刷データとして使用することはできません。必ず Illustrator(.ai) で作成した最終データと一緒に入稿してください。